

## 問6.映画「痛くない死に方」はいかがでしたか？理由・感想一覧

|                                                                                                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・ 安らかな死を迎えることができることが、人生最後の最も大事なことに感じました。そうなるよう大事な人生を精一杯生きています。                                                                                                            |
| ・ 在宅介護の大変さ、困難さがよくわかりました。                                                                                                                                                  |
| ・ 終末期を迎えた人間な従順たれ。                                                                                                                                                         |
| ・ 自宅での看取りの大変さがひしひしと感じました。ケアスタッフが家族と関わり方で介護する家族の方が少しでも安心して出来るだなと思った。心の痛まない介護ができれば良いですね。                                                                                    |
| ・ 在宅医療の家族負担が大きすぎるので病院での緩和ケアを選択します。在宅ケアの選択はとめました。                                                                                                                          |
| ・ 現実であり実感して知ることができた。現実でありうることを知ることができた。                                                                                                                                   |
| ・ 身近になったことなのでとても参考になった。                                                                                                                                                   |
| ・ とても参考になりました。                                                                                                                                                            |
| ・ こんなすばらしい在宅医がたくさんいるといいですね。私の父93歳、母92歳なのでまもなくです。とても考えさせられました。                                                                                                             |
| ・ 参考にしたいと思いました。                                                                                                                                                           |
| ・ これからの家族にかかってくる問題。深く考えさせられました。                                                                                                                                           |
| ・ 自分が同じような状態になったら、こうゆう死も託していけるのかなと思いました。                                                                                                                                  |
| ・ 楽しく終末を迎えたいと…。                                                                                                                                                           |
| ・ 色々と問題点があり考えさせられることがありました。                                                                                                                                               |
| ・ とても勉強になりました。死は病院で迎えるものと思っていました。在宅医療のあることすらわかりませんでした。尊厳死についてもちょっとではありませんがわかりました。一度は迎える死、恐れることなく覚悟したく願っています。                                                              |
| ・ 訪問診療、訪問看護の大切さ、医者・看護師の苦勞が良く理解できました。でも医師から見ると利用者・要介護者は1対大勢ですが、私達は1対1なのです。私達利用者に心から寄り添ってくれるのはうれしいです。私は夫の最期に医師・ナースに本当に親切に私の事(介護者)にも気を使って頂き有り難かったです。救急車、呼ばないで…の医師の説明思い出しました。 |
| ・ 主人公(医師)の妻について。フィクションドラマとはいえ離婚するのは自由だが、その後の生活を前の夫に頼る、委ねるのは(若いのに)品のない、自立していない女性のように思いました。離婚時の一時金ならまだしも、月々要求するのは、私の年では理解できない。今時の女性は、この映画の妻と同じ考えなのか、そんなことを考えました。            |
| ・ 今後の自分の事として参考になりました。                                                                                                                                                     |
| ・ 色々な事を考えさせられた。                                                                                                                                                           |
| ・ 在宅ケアは私にとっては理想です。家族の受け入れなどを考えると受け入れられないと考えますが、あこがれる。                                                                                                                     |
| ・ どんな内容？と思って参加しましたが、とても良かったです。                                                                                                                                            |
| ・ 自分に置き換えて考えることがいっぱいあった。                                                                                                                                                  |
| ・ 人は何かのきっかけで変わるのですね。私にもそんなきっかけが訪れるのか…。医療と介護難しいですね。                                                                                                                        |
| ・ こんな先生に看てもらって家で死にたいです。                                                                                                                                                   |
| ・ 本多彰さんは幸せな最期でしたね。在宅看取りでは救急車を呼んではいけないのですね。                                                                                                                                |
| ・ いつか絶対行く道、所。私も最後楽しく逝きたいと思いますけど、どうなるものが「神のみぞ知る」ですよ。                                                                                                                       |
| ・ 在宅医療の難しさ、簡単に言うがなかなか大変なことが多く、私達も学ぶことがあります。                                                                                                                               |
| ・ 今後の参考になるであろう。                                                                                                                                                           |
| ・ 「痛い」のは「フトコロ」じゃないですか？皮肉！                                                                                                                                                 |
| ・ 映画とても良かった。生きるとは食べること。未来ノート、一行でも書けるようにします。家族にも今後のことについて話してみます。ありがとうございます。                                                                                                |
| ・ 現実にそってとてもこれからの道しるべになりました。                                                                                                                                               |
| ・ いろんな意味での痛くない死に方があるなと改めて思いました。今後の人生に役立てたい。                                                                                                                               |
| ・ 家族や医師の苦勞もよくわかり、とても良い機会になりました。ありがとうございました。                                                                                                                               |
| ・ とてもリアルで身につまされる想いでした。医療側、家族側、本人側からの視点が見られて良かった。                                                                                                                          |
| ・ 人の命について、生き方、死に方について考えました。とても良い映画だと思いました。                                                                                                                                |
| ・ 俳優の方々の演技が素晴らしかった。身につまされ、面白く、悲しく、役に立った映画でした。役所の方々の選択が素晴らしかったです。                                                                                                          |
| ・ 映画の在宅医のような人に看取りをしてほしいと思いました。                                                                                                                                            |
| ・ 死に向かうことについて考えさせられました。                                                                                                                                                   |
| ・ 考えさせられることがありました。                                                                                                                                                        |
| ・ 高齢化社会、介護の考え方の勉強になりました。                                                                                                                                                  |
| ・ 難しいことです。                                                                                                                                                                |
| ・ 在宅医療についていろいろとわかり、介護に携わっているが、ちょっと学べたかな。                                                                                                                                  |
| ・ とても参考になりました。                                                                                                                                                            |
| ・ 最初の患者さんとの関わりからの医師の変化を見ることができてよかった。死をマイナスと受け止めず、自然なことと思うことができた。母の介護をしているが、上手に枯れさせることができるようにいろいろな人の手を借りて頑張っていきたい。                                                         |
| ・ 自分の生き方、最期について考えるよい機会となりました。ありがとうございました。                                                                                                                                 |
| ・ 私自身70代、共感することがあります。                                                                                                                                                     |
| ・ 自宅で看取りを経験しました。よくできたかは分かりません。                                                                                                                                            |
| ・ 考えさせられることが沢山ありました。                                                                                                                                                      |
| ・ 大変学ぶことがたくさんありました。在宅看護の難しさと素晴らしさ、感動でした。涙が溢れました。今後自分の家族や自分自身に向き合っていくしたいと思います。                                                                                             |
| ・ 在宅医療の家族患者さんの様子が知れ、医療と在宅の困難さを学んだ。                                                                                                                                        |
| ・ 在宅、病院のメリット、デメリットがわかりやすかった。                                                                                                                                              |
| ・ わかりやすく、伝わりやすい内容でした。                                                                                                                                                     |
| ・ QQ車を呼ばずに済ます在宅医療。在宅医療の厳しさも分かる映画でした。                                                                                                                                      |
| ・ 近い将来、自分の身に起こることと真剣にみました。尊厳死、改めて考えます。                                                                                                                                    |
| ・ 本多と河田のやりとりのシーンが良かった。                                                                                                                                                    |

|                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・ 在宅医療は大変だと思いました。                                                                                                    |
| ・ 人を信じる、医者を信じる、患者を信じる。これが尊厳かと。                                                                                       |
| ・ 家族は大変だと思いますが、みれたらいいと思う。                                                                                            |
| ・ 家族がたくさんいれば自宅だと思う。迷惑をかけるけど。                                                                                         |
| ・ 穏やかに痛くなく終末期を迎えられるのが理想かと思います。                                                                                       |
| ・ この機会がなかったら出会わなかった映画でした。考え深くこれからの生き方の参考になりました。                                                                      |
| ・ 実感する内容であった。                                                                                                        |
| ・ とても勉強になりました。                                                                                                       |
| ・ 夫をなくしてしまいましたが、後悔することばかりです。                                                                                         |
| ・ 自身でも医学の知識を身につけたい。                                                                                                  |
| ・ 大変良い映画でした。映画のような在宅医療が日本でも推進することを願います。                                                                              |
| ・ 前にビッグパレットでやった映画をみてよかったから。                                                                                          |
| ・ 俳優さんの演技がとても良かった(柄本さん)。在宅医療が是か非かというのはありますが、生かされている。そのこと自体を大切に改めて考える良い機会でした。ありがとうございます。                              |
| ・ 在宅医療の中身を初めて知ることができました。新しい世界を知ることができました。                                                                            |
| ・ 生きていたことを大事にしたい。                                                                                                    |
| ・ 大貫さんの立派な生き方に感動しました。私もそうありたいです。原田ドクターの様な人ばかりだと安心して頼めます。                                                             |
| ・ 私自身、父の看取りをして、間違っていなかったなあと思いました。                                                                                    |
| ・ 今後自分自身、何かと参考にしたいすばらしい映画でした。                                                                                        |
| ・ 実父の死の時の思い出す内容で身につまされました。                                                                                           |
| ・ 最期の時、死を真正面から取り上げていてすごい。大切な人生最後のテーマであるのに、男性の参加がほんの少数であったことにいつも失望。反して女性の活力にはいつも感動!! 多死時代どうする？                        |
| ・ 夫も介護で施設入居5年以上ですが、在宅はつくづくできないと感じました。参考になりました。                                                                       |
| ・ 延命治療は望みません。家族の負担にならない限り、在宅で最期を迎えたいと思います。                                                                           |
| ・ 在宅介護について考えさせられた。                                                                                                   |
| ・ 以前、福島フォーラムに來た時に見たかったが、2週間という短期間で見れなかったのが、今回、上映会に参加出来て良かった。                                                         |
| ・ 大変参考になりました。在宅看取りの難しさと大事なこと(?)判断も難しいですが最期は自宅で理想です。                                                                  |
| ・ 母のことを思い出して、この映画をもっと前に見ることができたら…と。                                                                                  |
| ・ 在宅経験者です。過去を振り返りながら、改めて在宅医療について考えさせられました。川柳もどきは別に読みたいと思った。                                                          |
| ・ 自分の最期のことを真剣に考えないといけないと強く感じた。                                                                                       |
| ・ 今回の先生の在宅医療をしていただければ家族の同意があれば在宅で終わりを迎えたい。                                                                           |
| ・ 自分が正常なうちにどう死を迎えるか考えて、紙に残しておくべまだと、つくづく思いました。尊厳考えさせられました。                                                            |
| ・ 自宅で最期を迎えることが大事かも？                                                                                                  |
| ・ 今後、介護を受ける身としては、やはり子供たちの辛さを考えると施設入所や入院を考えることになりそうです。                                                                |
| ・ 重いテーマでしたが、笑いもあり、観ることができました。ありがとうございました。                                                                            |
| ・ 理想です。                                                                                                              |
| ・ 宇崎氏のストーリーが面白かった。                                                                                                   |
| ・ とてもシリアスなテーマをユーモアを交えてそれでも医療に携わる方々の複雑な心情を上手に描いていて良かった。                                                               |
| ・ 在宅は理想ですが、介護者の確保、在宅医療費の負担を考えると管に繋がれた最後を迎えることになるのかな？                                                                 |
| ・ 自分だけでなく、家族として向き合っていきたい。                                                                                            |
| ・ 2年前に母を亡くしましたが、その時の介護とダブリ思い出しました。                                                                                   |
| ・ 現代の医療問題をしっかり浮き彫りにされ、大病院にも勤務経験のある先生が病名ではなく人間をみて治療するという姿勢。そして今の若い先生方がマニュアル通りの医療をしていることに対しては教育をしてくださっているのがわかりとても良かった。 |
| ・ 失敗、これでよかったのか、後悔。人の死に対しての考え方、寄り添い方を考えさせられた。                                                                         |

問7.今回ご紹介した「わたしの未来ノート」に記入してみたいと思いましたか？理由

|                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・ 1.子供に今後のことについてしっかり伝えていけるから。                                                                                    |
| ・ 1.人生の最期は自分で決めたい。                                                                                               |
| ・ 2.未来ノートを越える内容の文章を作成済だから。                                                                                       |
| ・ 1.以前にも紹介していただいて、少しずつ記入しています。                                                                                   |
| ・ 1.子供にはあまり迷惑をかけない様にしたいと思います。                                                                                    |
| ・ 1.今健康でいる自分と調子が悪くなった時の考えるの違いを分かる為。                                                                              |
| ・ 1.自分に災難等あった場合未来ノートに残してあれば身内の方々にわかりやすい。                                                                         |
| ・ 1.自分が介護施設に入所する時の希望を書いてみたいです。自分の母や入所された知人たちの多くが認知が進行してしまい、生活の問題を思いました。                                          |
| ・ 1.伝えているようで伝えていない事もあるので家族に一冊にまとめておくのは互いに良いことと思った。                                                               |
| ・ 1.私達老夫婦は、二人で延命治療はしない…等話し合っていました。でも、一人になった私の場合は、書いておかないと子供に正しく伝わらないので、子供が迷ってしまわないために保険（金銭面）等はすでに子供にわかるようにしています。 |
| ・ 1.しっかり考えてみたいと思ったから。                                                                                            |
| ・ 1.人はいつかは死にますから最期は潔く逝きたいものです。                                                                                   |
| ・ 1.家族が悩むことのないように大事だと思いました。                                                                                      |
| ・ 1.一人暮らしだから参考にしたいです。                                                                                            |
| ・ 1.一人息子と別々に生活しているので、日頃の私の生活がわかりません。今までも「機会」はありましたが、なかなか進まないでいます。これを機に少しずつ書いてみたいと思いました。                          |
| ・ 1.一度整理したい。                                                                                                     |
| ・ 1.息子から書いてくれと言われた。困るので、と。                                                                                       |
| ・ 1.しっかり人生を見つめるためにも書き留めておきたいです。                                                                                  |
| ・ 参考にした。                                                                                                         |
| ・ 1.自分の今後について考えるきっかけとしたい。                                                                                        |
| ・ 1.現在77才なので自分の今後を考えたい。                                                                                          |
| ・ 1.記入できるものは記入したいと思った。                                                                                           |
| ・ 3.ただ、自分を見つめ直すのには、いいかなと思います。                                                                                    |
| ・ 1.自分の覚え書きとして、家族に伝えるため。                                                                                         |
| ・ 1.残された家族のためにも書いた方が良いと思う。                                                                                       |
| ・ 1.自分が最後どうしたいのか考えておきたい。自分の事がおそろかになっていると思うので、自分は何がしたいのか、何が大切なのか考えたい。残された人のために整理しておくため、思いを伝えたい。                   |
| ・ 1.自分自身だけではなく大切な家族のためにも記入したいと思いました。                                                                             |
| ・ 1.自分が80才近いので未来ノートをつけてみようと思う。                                                                                   |
| ・ 書いてみましたがなかなか書けない所もあります。                                                                                        |
| ・ 1.自分がしっかりしているうちに自分と向きあって記入したいです。                                                                               |
| ・ 1.書きやすそう。                                                                                                      |
| ・ 1.そろそろ準備が必要かな…と考えていたので。                                                                                        |
| ・ 1.内容が複雑なのでどこまで書けるかはわからないが。                                                                                     |
| ・ 1.終活のために役立てたい。                                                                                                 |
| ・ 1.自分の父は、生前、言葉を元気な時に残してくれたので残った子供たちは助かりました。残りの人生を生きていくうえで、自分も娘たちに元気な時に、自分の意思を伝えておきたいと思う。                        |
| ・ 1.下準備したい。                                                                                                      |
| ・ 1.もしものときの毎日を少しでも自分の気持ちに沿った生活をしたい。                                                                              |
| ・ 1.勤族で郡山に居住し親戚も離れているし、高齢となっているので自覚した。                                                                           |
| ・ 1.自分の先の生きる道を改めてみつめ直し、よりよい人生にするための道しるべにしたい。                                                                     |
| ・ 3.自分が向き合うのはまだ先と思ってしまうから。（残された者が困るから夫にも書いてほしいと渡してあるが絶対書いてくれない）                                                  |
| ・ 1.やはり残すべきだと思う。                                                                                                 |
| ・ 1.もう全部用意済み。                                                                                                    |
| ・ 1.でも状況で。                                                                                                       |
| ・ 1.見て参考にしたい。                                                                                                    |
| ・ すでに持っていて記入している。                                                                                                |
| ・ 1.今日初めて知り、良いと感じましたので。                                                                                          |
| ・ 1.残された家族のために。                                                                                                  |
| ・ 1.いろいろ今後について書いておきたいと思っていた。未来ノート素晴らしいと思う。                                                                       |
| ・ 1.すぐではないが知らせておきたいこともあると思うから。                                                                                   |
| ・ 1.一部記入している。                                                                                                    |
| ・ 1.残った家族に迷惑をかけないため。                                                                                             |
| ・ 1.自分が亡くなった後、自分が思っているようにしてほしいと思っているから。                                                                          |
| ・ 1.家族に対するメッセージと財産やそのほかの扱い方を伝達するため。                                                                              |
| ・ 1.自分の意思を遺族に知ってもらいたいから。                                                                                         |
| ・ 1.今日の映画がノート記入のきっかけになりそうです。                                                                                     |
| ・ 1.早速記入してみます。                                                                                                   |
| ・ 3.いずれ。                                                                                                         |
| ・ 1.いつ、何が起こるかわからない。ガンばかりではないと思う。                                                                                 |

## 問8.今後の研修会のテーマ

|                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・ 各地域の現状について知りたい。                                                                                                                               |
| ・ 痴呆症の介護（家族側も含む）もやってほしい。どこまで在宅で見ていられて、どこから施設におまかせしたらいいかボーダーラインが知りたい。                                                                            |
| ・ 日本での安楽死について。                                                                                                                                  |
| ・ 介護保険制度という美名のもとの家族の闇（光と影）。                                                                                                                     |
| ・ デイサービスの受講費用などの調達と心配事の相談。独立生活の終末について相談事がある。                                                                                                    |
| ・ 老健施設はどんなところなのか、患者さんのJ回復の可能性など知りたい。医療介護病院とはも知りたいです。                                                                                            |
| ・ 一人住まいで高齢になり、病気などで自分の事が出来なくなった時、介護などの援助が必要になった時、どのようにしたらいいか心配です。どこにどの様に相談したらよいか。                                                               |
| ・ 認知の進行にならない介護方法について。                                                                                                                           |
| ・ 健康を自負していた自分も年々歳には勝てず、いつかはお世話になることを考えるようになりました。介護職の名称（ヘルパー、ケアマネ…etc）と役割すらわかりません。また介護施設についてもしっかりです（デイサービス、グループホーム、老人ホーム、ケアハウス…etc）。基本の基本から知りたい。 |
| ・ 色々わからないことがあるのでいろんなことに目を向けたいです。                                                                                                                |
| ・ 今回のように面白く、役に立つ内容の作品を期待します。                                                                                                                    |
| ・ 現在、足が悪いのでそれに関したことなど。                                                                                                                          |
| ・ いつも思っているのは、楽に終わりたいと思うことです。                                                                                                                    |
| ・ 認知症患者との付き合い方。                                                                                                                                 |
| ・ 地域で生活する人と家族を見据えての医療（病院）の在り方。病院では治療を優先しなくてはならないのはわかるが、地域で生活している人として見えていないと思う。（母が入院して思いました）                                                     |
| ・ 映画上映会続けてください。                                                                                                                                 |
| ・ また、同じような映画を観たいと思いました。                                                                                                                         |
| ・ 認知症。                                                                                                                                          |
| ・ 認知症の高齢者に対しての接遇の仕方などより詳しくわかりやすい実際の対面で研修してほしい。                                                                                                  |
| ・ 認知症や高齢者施設について。また、ホームの現実など。                                                                                                                    |
| ・ 悩みを話し合いたい。                                                                                                                                    |
| ・ 介護のやり方に関すること。                                                                                                                                 |
| ・ 終末期医療の中の今回のテーマはガンでした。今後は脳と心臓とかも作成していただければと思います。                                                                                               |
| ・ 認知症になった家族がいる場合、お互いに楽しく生きられる方法。                                                                                                                |
| ・ 親の在宅介護、どうすればいいか、どれくらいまでできるか不安があるので聞きたい。                                                                                                       |
| ・ 老々介護世帯の日常生活支援についての知識、知恵について。                                                                                                                  |
| ・ 自分たちが介護を受けるころは、介護事情はどうなっているのか（10年後）。わからないこともあるだろうが、考えて行きたい。                                                                                   |
| ・ 終末期の在り方、介護保険がどのように使われるか、細かなことが知りたい。                                                                                                           |
| ・ 今回の郡山に職場をもっていた方が友人に書いてもらった「私達は売りたくない」という本関係のものを郡山市民として世界市民として研修の形を取ってほしい。                                                                     |
| ・ また、このテーマをお願いします。                                                                                                                              |